「社会共生実習」とは、龍谷大学社会学部の
全３学科が共同運営する地域連携型の実習です。

■社会共生■実習

2020.08.05 発行

発行元
龍谷大学 社会学部
社会共生実習サポートデスク

〒612-8577
京都市伏見区深草塚本町67
龍谷大学社会学部教務課
社会共生実習サポートデスク
TEL:075-585-7672
FAX:075-585-6377
E-mail:co-ex@ad.ryukoku.ac.jp

龍谷大学 社会共生実習ニューズレター

Infinity Vol.20

～大学と地域の協働力は無限大∞ ～

全プロジェクトの活動共有会をおこないました

7/4（金）に、全プロジェクトの受講生は一堂に会して、本実習についての話題を共有し、プロジェクトの枠を超えて一緒に悩み助け合える仲間をつくる機会として、「活動共有会」が開催されました。受講生たちは3～5名のグループに分かれ、所属プロジェクトや学年、学科が異なるメンバーで取り組みました。

本共有会では初めに、久保和之教授から「3学科が合同になって現場で地域の課題を発見して、それを解決に導くということ。いろんなプロジェクトがあるなかで、お互いにどんなことをやっているのか、どんな悩みがあるのかというところを共有して今後のプロジェクトに生かしましょう」と開会の挨拶をしていただきました。

続いて、受講生たちは自己紹介を行いました。今年度の共有会司会である土田美世子教授からの提案で各プロジェクトの担当教員の名札がつけられたぬいぐるみを、各チームに投げ、受け取った人から自己紹介をすることになりました。
初めは、知らない学生同士で少し緊張しているようでしたが、ぬいぐるみを投げ渡したことで、空気が和み少し緊張がほぐれたようでした。

自己紹介の後は、グループワークを行いました。4色の付箋ごとに決められたテーマについて各自思ったことを書き、グループワークで共有しました。

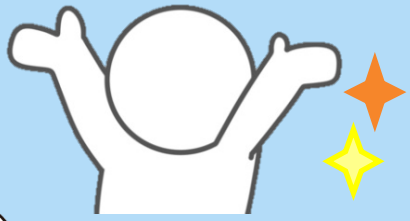
4つのテーマは以下のようになっています。
黄色：所属するプロジェクトがどんな活動をおこない、どこで、いつ、どんな方々と活動しているか
赤色：今までの活動のなかで、印象に残っていることや楽しかった経験
緑色：活動をとおして気づいたことや学びになったこと
青色：困ったり悩んだりしていること、協力して一緒にできたらいいなと思うこと

受講生たちは、4月のスタートから現在にいたるまでの実習の中で思ったことや気づいたことを各自考えながら、付箋に書いていきました。話し合う中で共感し合う声や、驚いたような声、笑いが起きるチームがあり、終始にぎやかな雰囲気で進んでいきました。
その後、グループワークを通じて見えた共通点や違った点などを話し合い、チームごとに全体に報告しました。

受講生たちはそれぞれ仲間の意見を聞き、共感し合うことで新しい学びを得るいい機会となりました。

受講生インタビュー

＼＼前期お疲れ様でした！！／／



①このプロジェクトを選んだ理由は？
②現在このプロジェクトではどのような活動をしていますか？
③実際に活動して大変だと感じたこと
④受講して身についたスキルは？
⑤今後の目標やチャレンジしたいことは？
⑥プロジェクトに興味がある方へのメッセージ

①大津市でおこなわれている取り組みや行事のボランティアに参加したことから、地域の方たちの繋がりの強さを感じ、中央学区ではその繋がりがどう生まれて、どんな取り組みをしているのか興味があって受講しました。②今は、高齢者世代と若者世代が少しずつ歩み寄って「縦の関係」を築いていけるように、実際にどんな活動をされているのかリサーチしているところです。③実習の中でいろんな方の話を聞いても自分の答えに当てはめてしまっているところがありました。担当教員の脇田先生に「知った気にならず、自分の解釈をしすぎない」と言われて、目の前の事実だけを受け止める難しさを感じました。④自分の考えを頭の中でまとめて言葉にすることができるようになりました。また、聞いた話の中に自分が知っているエピソードと共通するものがあるなと物事をリンクさせて考えれるようになりました！⑤実習で得た知識や経験をアウトプットさせるために、地元の自治体などに参加してみたいです。⑥地域の方と関わったり、一緒に活動していく中で様々な考え方や感じ方に出会えることや学びや気づきがあるのが実習の魅力だと思うので、少しでも興味があったらぜひ受講してほしいです！

地域エンパワねっと・大津中央
現代福祉学科　2年生
田中綾乃さん

農福連携で地域をつなぐー
「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」
社会学科　3年生
横山寛治さん

①昨年は学外で活動してみたいと思い、このプロジェクトを選びましたが、今年は「農福」の「農業」に興味が出てきて受講しました。②障がい者の方たちと農作業をすることがメインですが、自分のスケジュール的に作業が一緒にできない時が多いので、休憩の間に施設の方と利用者の方たちと一緒に自作したレクリエーションをしています。③プロジェクトの受講生の数が昨年と比べて少ないので、レクリエーションを盛り上げるのが大変です。また実習先への移動もバタバタして大変だなと思うことがあります。④今までは相手が話しかけてくれていたけど、実習で「朝市」のお手伝いをした中で目上の方々と話すことが多く、皆さんの面白い経歴を知りたくなって、自分から話しかけるようになりました。また、自分で図書館に足を運んで、気になったことや関連することを調べるようになって、少し大学生らしい生活をしているなと実感しています！⑤将来は自分で野菜を作って自分の料理で出す「Farm to Table」という考え方を持ってお店をやりたいなと思っています。そのために社会企業育成プログラムなど参加してみようと思っています。⑥大学に入って何をやりたいか決まっていなかったけど実習を通して見つかったので、きっかけ作りに受講するのもいいと思います！

①初めから「実習」をなにかやりたくて、昨年は久保先生のプロジェクトに友人と参加しました。そこで１年間受けてみて結果を直に受けるところにやりがいを感じ、元々お寺にも興味があったので、今年はお寺のプロジェクトを受講しました。
②７月末に佛現寺さんに取材にいくので、そのための前準備としてアポ取りなどをしています。メンバー４人と取材に行き、最終的にはnoteに取材記事を載せる予定です。完成はまだ先ですが…。③記事の書き方が難しいなと感じました。論文とも違う書き方ですし、お寺のことを知らない人たちに読んでもらいたいので、知識の面でもより難しいと感じています。④昨年の実習の時から感じていますが、主体性が求められるので自分からまとめたり働きかけることを意識して行動できるようになったと思います。グループでの協調性も大切かなと思います。⑤お寺は風景の一部で、地域にどう貢献しているか知られていないので、たくさん発信してお寺がどんなことをしているのか知ってもらうのが、今の目標です。⑥ちょっとした興味やこだわりがなくても活動していくうちに興味がでていくし、楽しくなっていくので気負いせず、受講してみてほしいです！

お寺の可能性を引き出そう！
－社会におけるお寺の役割を考える－
社会学科　3年生
西河直人さん

障がいがある子どもたちの放課後支援
現代福祉学科　4年生
飯山悠さん

①教職が忙しいのもあって、前期で単位をとるために選んだのが最初のきっかけです。担当教員の土田先生がゼミ担当だということもあります。また、将来学校に勤める時に障がいがある子どもと関わることもあるだろうし、児童福祉の知識が役に立つと思いました。②前期のみの実習なので大きなイベントはもう終わっていて、後は実習先の方と振り返りをする予定です。③一般の利用者と重症心身障害の利用者で行動の範囲に差があって、対応も一人ひとり違うのでその違いに対応するのが難しかったです。④スキルとは違うかもしれないですが、個人的に「重心の利用者と深く関わること」を目標としていました。第一印象では分からないような意外な一面を知れたのは、コミュニケーションの取り方を工夫したからだと思います。⑤実習で健常者と障がい者の関わり方に大きな差がないことを実感したので、教員になった時、子供たちに関わりやすさを伝えていきたいなと思います。⑥単位のためだったとしてもやってよかったと思います。実習の中で考えを言葉にする力が身に着いたことも含めて受けたらいい方向になると思います。

①メディア業界に興味があって、SNSや広報が学べるこのプロジェクト受けたら自分のためになるかと思い、受講しました。②主に滋賀県レクリエーション協会の広報のお手伝いをしています。広報誌の編集や発行、SNS運営やホームページの編集を通して滋賀レクリエーション協会の活動や、レクリエーションを知ってもらう活動をしています。③月に1、2回ほど自宅から滋賀まで通うのに少し時間がかかることです。広報に関しては、SNSの投稿内容が思いつかない時や、SNSのファロワーが少ないとどうやって増やすかが難しいなと感じています。④SNSの運営を通して表現力が身に付いたと感じます。特に「X」だと投稿内容を140文字で分かりやすく簡潔にまとめるないといけないので表現力が大切だと感じました！また、地域とレクリエーションへの理解も深まったし、いろんなレクリエーションがあることを知れたと思います。⑤自分が知らないことは周りの人たちも知らないと思うし、実際にやってみると面白いのでレクリエーションをもっと広めたいと思います。⑥共有会で、どのプロジェクトも地域の方と関わりを持っていたので地域への学びを椅子に座ってではなく、直接学んで深めたいという人や少しでも興味がある人は受けたら楽しいと思います！

コミュニティの情報発信！
レク龍プロジェクト
社会学科　2年生
森家那奈海さん